

優れた安全管理体制に栄誉

(順不同)

推薦事務所 信濃川下流河川事務所

【現場等における具体的な取り組み】

戸石地区河道掘削その10工事の河道掘削土は数多くのダンプトラックを使用して運搬を行うため土砂運搬時における交通事故防止対策・過積載防止対策が重要となり、軟弱地盤再堆積土の掘削では掘削機械の選定が課題となった。現場では土砂運搬経路に特化したハザードマップの作成を行い、危険箇所運転マナーの教育を強化し、現場代理人等による抜き打ちパトロールを定期的に行うとともに運行管理は Smart Construction Fleet、過積載防止はペイロードバックホウを活用して施工。軟弱地盤再堆積土の掘削では超低接地圧でヘドロ状の地盤でも進入可能な泥上掘削機により施工し安全対策を実施した。



株式会社 坂詰組
代表取締役 坂詰敏彦
〒959-2221 新潟県阿賀野市保田 4177 番地 1
TEL 0250-68-5555 FAX 0250-68-3772

推薦事務所 阿賀野川河川事務所

【現場等における具体的な取り組み】

滝坂地すべり対策施設修繕他工事は、福島県西会津町にある大規模地すべり地帯「滝坂地すべり」において、集水井内での集排水ボーリング工を主に行ったもので、坑内作業に対する安全対策が重要課題であった。月々の安全教育では、集水井内での作業が体験できる「VR安全教育」を取り入れ、危険箇所の確認、作業員の安全意識向上に努めた。また、排水ボーリング工事では、鋼管を溶接しながら推進する「大口径排水ボーリング工」を施工したため、送風機とは別に「排風機」を設け、坑内の溶接フェュームを素早く排出した。



代表取締役社長 齋藤浩之
〒950-8565 新潟県新潟市中央区新光町 6 番地 1
TEL 025-281-8811 FAX 025-281-8833

推薦事務所 羽越河川国道事務所

【現場等における具体的な取り組み】

R4日東道交通安全施設整備その2工事は、夜間通行止めで作業を行う工事で、ダンプトラックによる巻き込み及び接触事故を防止するため、車両後進時及びダンプアップ時の適切な誘導と運転手の視認性確保が必要であった。現場で行った安全対策では、自社開発したFMラジオを利用した音声ガイダンスと、LED表示板により誘導する工事車両無音誘導システム『おとなしくん』を設置し、搬入車両の誘導を図った。その他、危険疑似体験訓練の実施、外部講師を招いた安全講習会、協力業者と福田道路の女性従業員が通常の工事関係者とは違う目線で行う「なでしこ安全パトロール」を実施した。



代表取締役社長 坂上浩則
〒951-8503 新潟市中央区川岸町 1 丁目 53 番地 1
TEL 025-231-1211 FAX 025-231-1212

推薦事務所 新潟国道事務所

【現場等における具体的な取り組み】

R4水原維持管内舗装修繕工事は、国道49号の道路修繕を目的とした昼夜連続片側交互通行規制での舗装打換え工事で、作業エリアおよび開放車線が狭い状況下での工事であった。現場は一般車両の安全走行確保が重点対策項目であり、安全対策として①規制起終点後方にスリム型電光掲示板を設置し、車両の事故防止対策を実施した。併せて誘導員配置人数の削減により生産性向上も図った②開放車線の狭所箇所・工事車両出入口や現場終点部にある鳥井パーキング出入口には高輝度看板+LEDライトの設置と交通誘導員を配置することで、一般車両への注意喚起と車両の誤進入を防ぐことを図り、無事故で工事を完成した。

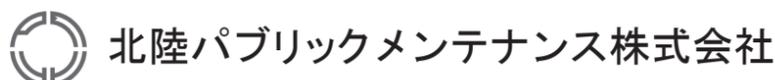


道からはじまる街づくり
執行役員 支店長 堀吉伸
〒950-0911 新潟県新潟市中央区笹口 2-12-7
TEL 025-245-5506 FAX 025-243-2070

推薦事務所 長岡国道事務所

【現場等における具体的な取り組み】

R3-5長岡国道管内道路維持作業は、長岡国道事務所が管理する4出張所(長岡・柏崎・小出・湯沢)の清掃作業を主とした道路維持作業で、現道上での作業がほとんどであり、メインの作業となる除草作業時の飛び石による第三者被害防止が課題となった。対策として、通常使用するチップソーに加え、飛び石抑制のための新技術である『スーパーカルマーPRO』を使用することで、飛び石による第三者事故を防ぐことができたほか、キックバックによる作業員の負傷事故も起こすことなく作業を完成させることができた。



代表取締役 堀尚紀
〒950-0210 新潟県新潟市江南区横越上町 4 丁目 10 番 7 号
TEL 025-385-1128 FAX 025-385-1138

推薦事務所 湯沢砂防事務所

【現場等における具体的な取り組み】

魚野川下流床固工群その10工事は、冬の河川工事で魚道構築にはクレーン作業が必須となるが、最も遠い作業箇所が約30m離れており合図者の指示が分かりにくく、コンクリート打設時はパイプレーターの音で無線も聞きづらいことから、クレーン災害防止が課題となった。そのため作業場近くに持ち運びができるライブカメラを設置し、その映像をクレーンオペレーターが確認できるようモニターを運転席に設置。クレーンブームの先端にもカメラを設置して上部からの映像と合わせて微細な動きが確認できるように安全対策を講じることで、無事故・無災害で工事を完成できた。



代表取締役 大野康
〒949-6212 新潟県南魚沼郡湯沢町大字三国 650 番地 1
TEL 025-789-2003 FAX 025-789-2405